

問題

以下の文章を読んで次の問いに答えなさい。

文化庁「国語に関する世論調査」（平成 25 年度）によると、言葉や言葉の使い方に対する社会全体の関心が「以前よりも低くなっていると思う」という回答が 30 代から 60 代で 5 割を超えており、言葉や言葉の使い方に関する社会全体の知識や能力が「以前よりも低くなっていると思う」という回答が 20 代から 50 代で 6 割以上となっています。

また、「世間ずれ」、「やぶさかでない」といった慣用句等の意味を尋ねたところ、本来とは違う意味とされる選択肢の方が多く選択される状況にあります。さらに、「～る」、「～する」形の動詞については、「チンする」（「電子レンジで加熱する」という意味）は 9 割、「サボる」（「なまける」という意味）は 8 割台半ばの人が「使う」と回答しています。

他方、国連教育科学文化機関（ユネスコ）が 2009 年に発表した「世界消滅危機言語地図」においては、世界で 2,500 に上る言語が消滅の危機にあると指摘されており、日本国内ではアイヌ語や沖縄語など 8 言語・方言がその中に含まれています。

- (1) 言語の意味の変化、新しい言葉の出現、言葉の消滅が起こる原因及び影響として考えられるものを挙げた上で、それらを踏まえて、言葉の果たす役割について、あなたの考えを具体的に述べなさい。
- (2) 言葉についての関心を喚起し、理解を深めるための施策について、あなたの考えを述べなさい。